



カラフル

特別支援学級通信 2月号

長久手市立東小学校

みんな休み感覚からは抜け出し、学校生活のリズムに慣れました。現在、なわとび週間です。長い放課には運動場で、多くの児童が元気になわとびをしています。6年生は、卒業文集作りを始めました。卒業まで40日を切ったようです。

さつき・つばさ学級の子どもたちは、落ち着いて学習活動に取り組んでいます。少し前まで四苦八苦してやっていたことが、今では当たり前に行っていることがあります。学習面だけではなく、生活面についても、個の成長を感じます。「失敗は成功の母」、今後も失敗から学び、失敗を生かし、失敗に挫折せず粘り強く取り組めるように支援していきたいと思います。

ご賞味いただけましたか

聖護院大根の収穫を終えました。ちょっとしたアクシデントによって、収穫予定がかなり早まった株がありました。大きな株でなく、申し訳ありませんでした。

自宅にて、調理してみました。普通の大根の調理方法を参考にしました。下茹でをし、出汁で煮ました。下茹で時間は、普通の大根よりも5分ほど早く火が通りました。前回の通信で「煮物にすると柔らかく、カブのような食感です」と書いていますが、自分で調理したことがなかったので、しっかりと味わって食べました。確かに「煮物には最適ではないか」と思いました。

集金のお知らせ

- ・ 口座振替日は2月6日(月)です。
- ・ 集金額がそれぞれ違いますので、

配付した学級通信にて、個別にお知らせしております。

ミニトマト育っています

10月、聖護院大根の畑に、トマトが芽を出しました。5cmくらいの大きさに育ったので、小さなビニールポッドに移植しました。その後も順調に生長し、12月には、大きな鉢に定植しました。1月現在、50cmで花房が3段に付いています。一番下の花房には、結実したものもあります。6年生が卒業するまでには、収穫できるかもしれません。

トマトは花粉を媒介する虫がいなくても受粉するのでしょうか。この辺りのことは知りませんので、筆を使って受粉作業をしてみます。

ちなみにイチゴは受粉作業が必要です。イチゴの温室内には、ハナバチが飛んでいます。これは、受粉作業を請け負っている働く虫です。

